

1. 略歴

- 1992年3月 東京大学文学部心理学専修課程卒業
- 1992年4月 東京大学文学部研究生（～1993年3月）
- 1993年4月 東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教学専攻修士課程入学
- 1995年3月 同修了（修士（文学）取得）
- 1995年4月 東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻宗教学宗教学専門分野博士課程進学
- 2000年3月 同単位取得退学
- 2001年4月 聖心女子大学文学部専任講師
- 2003年4月 聖心女子大学大学院文学研究科専任講師兼任
- 2007年4月 聖心女子大学文学部准教授、聖心女子大学大学院文学研究科准教授兼任
- 2008年9月 博士（文学）取得（東京大学大学院人文社会系研究科）
- 2013年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

死生学、宗教学、スピリチュアリティ研究

b 研究課題

日本人の死生観、宗教心理学の学説・理論の研究、現代日本人の個人主義的スピリチュアリティ、未来に関する倫理

c 主要業績

(1) 論文

堀江宗正、「脱／反原発運動のスピリチュアリティ—アンケートとインタビューから浮かび上がる生命主義」、『現代宗教2013』、78-112頁、2013.6

堀江宗正、「31世紀のスピリチュアリティ—エーリッヒ・フロムの『聴くということ』を手がかりとして」、
<https://www.academia.edu/4890580/31_>、1-10頁、2013.10

Norichika Horie、「Narrow New Age and Broad Spirituality: A Comprehensive Schema and a Comparative Analysis」、『Steven J. Sutcliffe & Ingvild Saelid Gilhus (eds.), New Age Spirituality: Rethinking Religion (Durham: Acumen, November 2013)』、99-116頁、2013.11

書評論文、堀江宗正、「磯前順一『宗教概念あるいは宗教学の死』（東京大学出版会、2012年）」、『宗教研究』第87巻3輯、114-120頁、2013.12

書評論文、堀江宗正、「Jolyon Baraka Thomas, *Drawing on Tradition: Manga, Anime, and Religion in Contemporary Japan* (Honolulu: University of Hawai'i Press, 2012)」、『Religious Studies in Japan, vol. 2』、
<http://jpars.org/online/wp-content/uploads/2013/12/R SJ_2014_Horie.pdf>、2014.1

堀江宗正、「きれいである死後の世界—ポピュラーな映像作品を通して」、『文化交流研究』、9-16頁、2014.3

堀江宗正・島菌進、「自殺をめぐる研究の現状と今後—宗教学・死生学の立場から」、厚生労働科学特別研究『自殺総合対策大綱の見直しを踏まえた自殺対策発展のための国際的・学際的検討 平成25年度総合研究報告書』（研究代表者・椿広計）、87-101頁、2014.3

(2) 学会発表

国内、堀江宗正、「31世紀のスピリチュアリティ—エーリッヒ・フロムの『聴くということ』を手がかりとして」、京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科連続シンポジウム『心理臨床と地球の未来：31世紀のここを占う』、京都文教大学、2013.10.23

国内、堀江宗正、「自殺をめぐる研究の現状と今後—宗教学・死生学の立場から」、厚生労働科学特別研究「自殺総合対策大綱の見直しを踏まえた自殺対策発展のための国際的・学際的検討」主催 パネル討論会『自殺総合対策に必要な融合的な研究』、学術総合センター、2014.3.2

(3) 啓蒙

堀江宗正、「地獄をなくした死後の世界」、『春秋』、547、1-4頁、2013.4

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

2013年4月から2014年3月まで聖心女子大学にて非常勤講師

2013年9月から2014年3月まで早稲田大学にて非常勤講師

(2) 学会

日本宗教学会、「宗教と社会」学会、日本生命倫理学会、日仏哲学会、日本トランスパーソナル心理学・精神医学会